

■ 佐那河内村の主な文化財



仁井田の板碑

67番の仁井田の板碑は、現在仁井田神社境内の辻堂に納められています。全長は113cmあり、緑色片岩に「為逆修善根尼法阿闍向之」と刻まれています。唯一の村指定文化財です(昭和60年指定)。



西林寺の磬(けい)

磬は叩き鐘の一種として用いられた仏教の発音器です。「佐那河内」「以西郡」「西林寺」「大願主同中」と線刻されており、村内にあった西林寺の什物だったでしょう。徳島市助任の万福寺に所蔵されていましたが、現在は徳島県立博物館に保管されています。



安政大地震記録扁額

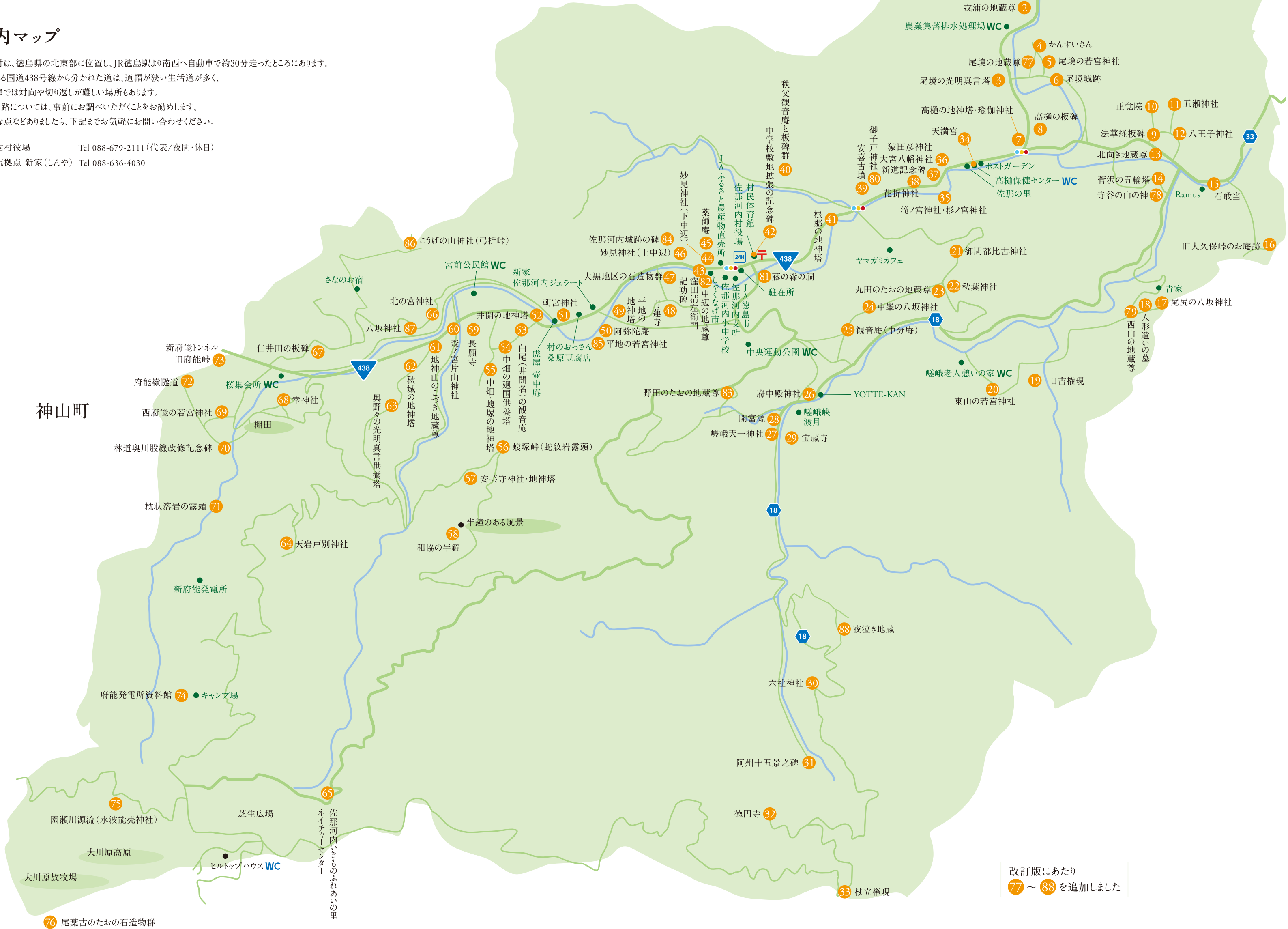
59番の長願寺が所蔵するこの扁額は、安政の大地震により破損した家老賀島家の書院の杉板に、家臣で儒家だった岩本賢庵が被害の様子を書き記したものです。

■ 村内マップ

佐那河内村は、徳島県の北東部に位置し、JR徳島駅より南西へ自動車で約30分走ったところにあります。村を横断する国道438号線から分かれた道は、道幅が狭い生活道が多く、普通乗用車では対向や切り返しが難しい場所もあります。目的地の経路については、事前にお調べいただくことをお勧めします。なお、不明な点などありましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。

- 佐那河内村役場 Tel 088-679-2111 (代表/夜間・休日)
- 地域交流拠点 新家(しんや) Tel 088-636-4030

神山町



徳島市

小松島市



さなごうち文化財
88ヶ所巡り
Sanagochi Cultural Assets Map



佐那河内村の歴史

徳島県の中東部に位置する名東郡佐那河内村は1郡1村で、北東から東は徳島市、北西は名西郡神山町、南は旭ヶ丸・六郎山(轆轤山)・烏帽子山を分水嶺として勝浦郡勝浦町、上勝町と接しています。村の中央を東西に標高200mの中峰山が走り、村を本谷地域と嵯峨地域に二分しています。

勸善寺(神山町阿野)にある嘉慶2年(1388)の奥書をもつ大般若経に「佐那河内主運寺」とあるのが本村名である「佐那河内」の初見ですが、根郷には总部山型の安喜古墳があったり、周辺からは弥生時代の土器なども見つかっており、人々の暮らしは古代にまで遡ることができます。

江戸時代前半の正保国絵図には佐那河内村・中辺村・佐我(嵯峨)村の3ヶ村の名が記されていますが、後期には上佐那河内村・下佐那河内村の2ヶ村になっています。また、藩主に献上されていた佐那河内米は、「御膳米御指定村々」や「御国産名物見立相撲」などから評価の高かったことがわかります。その他、「阿波志」によると松茸や楊梅〔やまもも〕、宜母子〔すだち〕などを産していたようです。

明治22年(1889)に市制・町村制施行にともない、2村が合併して現在の佐那河内村となりました。これ以降、徳島市が周辺自治体を吸収合併を進めますが、本村は周辺自治体と合併することなく、140年近い独自の歩みを重ねてきました。現在は、国道438号の整備にともなって徳島市への通勤が容易になったことから兼業農家も多くなりましたが、米作のほかに、スダチやミカン、さくらもいちご、キウイフルーツなどの果樹栽培が盛んで、農業が基幹産業になっています。

